

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年12月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670500117
法人名	医療法人 親貴会
事業所名	グループホーム もぜ
所在地	鹿児島県いちき串木野市春日町24番地 (電話) 0996-32-3033
自己評価作成日	令和元年10月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和元年11月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 職員同士が仲が良く、利用者様を交えて笑って1日を過ごしている。
- 建物は古いですが、飾りつけ等で華やかになっている。
- 子育て中の母親が働きやすい環境。
- 誕生月にわがままデイの実施(利用者様の希望を叶える)
- かかりつけの病院が近く、緊急時はすぐに対応できる。
- 看護師との連携。
- 定期的な勉強会と研修への参加。
- 積極的な地域行事への参加。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、母体医療機関に近く、ビルの2～3階に開設されている。母体医療機関と24時間の医療連携体制が整っており、本人・家族及び職員の医療面における安心となっている。
- ・自治会に加入し、総会や清掃活動・新年会・敬老会等の地域行事に参加しており、事業所行事の避難訓練・餅つき大会には、地域住民の参加がある。毎年、小学校に出かけて利用者と小学生の交流を行う等、積極的に地域との交流をしている。水害時の地域住民受け入れ協力について自治会に伝えてあり、40人の3日分の水・食料を備蓄している。
- ・理念に沿って、利用者主体の職員と利用者が笑って過ごせるよう、わがままデイを実施したり、家族・利用者の思いに柔軟に応える事業所を目指して運営している。職員も、それぞれの事情を勘案して働きやすい勤務体制等の配慮をしている。
- ・法人内の事業所等への異動を行って職員のスキルアップを図ったり、資格取得・研修受講の支援等により、職員の質とサービスの向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	共有スペースの様々な箇所に掲示している。全職員がいつでも再確認できるため、理念の実践に繋がっている。	見直した理念を、階段やリビング等の目につきやすい場所に掲示し、職員間の共有化を図り、職員会議時にケアを振り返っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くのパン屋さんに行ったり、公園まで散歩に行ったりして、地域住民との交流を図っている。	町内会に加入し、地域の一員として総会や清掃活動・新年会・敬老会に参加したり、事業所行事に地域からも参加してもらって交流している。小学生との交流やボランティアの受け入れもしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域で困っている方がいれば、いつでも相談してくださいと、公民館には発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族からの意見へは敏感に反応して、すぐに改善に取り組んでいる。	2ヶ月に1回の運営推進会議を実施し、ヒヤリハットを含めた事業所の状況報告と意見交換を行っており、系列のグループホーム職員も参加している。情報発信や事業所への理解を深める機会にもなっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市が主催する行事へ積極的に参加するようにして、その際に情報交換を行っている。	市の担当者とは、日頃から頻回に出向いて相談し連携を図っている。市の研修会等には積極的に参加し、情報交換等にも努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月の会議の中で一月を振り返って身体拘束がなかったかどうかを検討している。	指針があり、委員会を3ヶ月に1回、研修会は毎月実施している。不適切な言葉は気付いた時に管理者から注意を促したり、勉強会でも取り上げている。玄関の施錠はせず、外に出て行く利用者には付き添って散歩をする等で対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月の会議の中で一月を振り返って虐待がなかったかどうかを検討している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	外部の研修などを利用することによって知識を得るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、ご家族や本人の困りごとを気づけるように、しっかりとコミュニケーションをとっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>月に一回ある利用料支払日に、世間話から要望までいろいろ聞き出せるように心がけている。</p>	<p>利用者には、介護相談員との面談や普段の会話で要望を聞いている。家族には、運営推進会議や利用料支払い・面会時に要望等を聞いており、冷蔵庫やテレビの持ち込み・食べ物の差し入れ・晩酌の要望を受け入れている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>いつでも話しかけるように、朝は顔を出すようにしている。そこで得た意見や提案は、すぐに取り入れて実践している。</p>	<p>管理者は普段から気兼ねなく話してもらえるようにしており、年1回または必要時の面談も実施している。月1回の職員会議ではケアの統一や備品購入の提案について出され、反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>子育て中のママさんでも働きやすい様に勤務の工夫はしている。他のスタッフの休み希望もすべて取得出来るように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>個々の能力を把握して、各研修に参加していただいている。また、就業中には介助方法など、先輩が後輩に指導している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域で行われている介護医療関係の勉強会には積極的に参加している。そこで同業者と交流をすることが多い。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族から色々な情報をいただき、そこから本人が話しやすい環境を作るように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>利用相談の段階から困りごとや要望など、聞き出せるように和やかな空間を作っている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>同法人内にいくつかの事業所があり、そこと話し合いながら、本人が満足できるサービスを探している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>お茶や食事の時間などには一緒に頂くようにしている。そこで世間話や昔話をお互いに話している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の際には必ずスタッフが近況報告をしている。意見や相談事を聞き入れ、良い方法を一緒に考えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	大きな地域のイベントに参加することで、馴染みの人との出会いが生まれている。 また、自宅周辺をドライブすることもある。	家族・友人の面会時は居室等でお茶を出している。家族と美容室や外食・自宅訪問に出かけたり、職員と自宅周辺のドライブをすることもあり、馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲の良い悪いを把握して、その都度、席の配置を変更している。耳の遠い方が多いため、スタッフが介入している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方のご家族ともお付き合いが続いているケースがあります。経済的に厳しく、支援が必要だったため。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者はみんな同じ考えを持っているわけではないと、全スタッフが周知している。個別で対応も考えている。	日常の会話等で本人の思いを把握するように努めており、困難な場合は、表情や仕草等から推測している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始前にその方の情報を申し送りなどで全スタッフで共有するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の引継ぎで、個々の状態の変化や最近の行動などを伝え、全スタッフが把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月支払いに来られた際に、本人やご家族の近況を話し合っている。その中で出てきた事項を計画作成に盛り込むようにしている。	家族の来訪時に担当者会議を実施し、本人・家族・職員で話し合っており、主治医の意見を参考にして介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月に1回実施し、6ヶ月毎及び状況変化等の場合に介護計画を見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々のいろいろなことを個別で記録を残している。また、それを介護計画の見直しに活かしている。記録に残ったものは引継ぎで共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>他科受診の対応など、ご家族の希望に応じて行っている。出来る限り、要望には応える様にしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>個々の状態にあった専門医の受診を行うようにしている。早期治療で安心して生活できる環境を提供している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>歯科や眼科などかかりつけ医を把握して、ご家族、本人と相談しながら受診を行っている。</p>	<p>契約時に希望のかかりつけ医を聞いており、全員協力医療機関である。毎月の定期受診や他科受診も職員が同行し、必要時に家族に報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>状態の変化があったときはすぐに連絡をして、看護師からの指示をいただくようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>先生や看護師などから情報をいただけるように、連絡を密にとっている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>最低でも月に一回はご家族と話し合うことができるので、その際に今後の希望などを確認している。</p>	<p>契約時にマニュアルで説明している。重度化等の場合は、主治医から家族へ説明後、家族の意向を確認している。家族の協力等を含め、個々の状況によって看取り介護対応は判断しており、看取り介護の実績がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故が起こった際は、その事例を全員で共有している。また、対応の仕方などを検討している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回、防災訓練を実施している。地域の方にも協力していたき、避難手順などを確認している。職員も全員が避難方法を把握している。</p>	<p>年2回の避難訓練を昼夜想定で実施し、消防署の立ち会いが1回ある。法人職員及び住民の参加協力がある。水害時に住民受け入れ可能で、水や食糧を40人の3日分備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	スタッフ全員が利用者への対応は個々違うことを理解している。	勉強会を実施しており、排泄介助時の声掛けや入浴介助等、羞恥心への配慮を含め、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけをしている。申し送り時は、利用者に分からないよう工夫してプライバシーを確保している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	スタッフが常に利用者へ話しかけるように心がけている。その中で、要望を聞き取り、実現できるように検討している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	施設のタイムスケジュールにとらわれず、本人のペースに合わせて臨機応変に時間を決めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	化粧水をつける方もいれば、自分の着たい洋服を選ばれる方もいおり、できない部分のみ、スタッフが支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べた後のお盆拭きやテーブル拭きなど、一緒に行っている。食事の好みは日々のコミュニケーションの中で聞き取ったものを共有している。	献立は職員が作成し、個々に応じた食事形態で提供している。下ごしらえや片付けを利用者も一緒にしている。誕生日のケーキや行事食・外食・弁当持参の遠足等、工夫して取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別で水分量、食事量が分かるように記録に残している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声掛けは全利用者に行い、出来ない部分だけ支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握できるように、記録に残している。それを参考にして声掛け、誘導を行い、失敗を減らすように心がけている。	チェック表で個々の排泄パターンを把握し、仕草等も見て声掛けや誘導を行っており、昼間は全員トイレで排泄している。個々に応じたパット等を検討しており、夜間はポータブルトイレを使用する利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事に乳製品を取り入れたり、日常的に運動をしていただいたりしている。また、主治医へ相談して、内服面でも便秘を防止するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>無理な誘導はせずに、本人の希望を取り入れるようにしている。また、スタッフや時間帯を変えて、定期的な入浴ができるようにしている。</p>	<p>週2回以上の入浴を実施しており、時間は柔軟に対応している。体調により清拭等を実施したり、希望で同性介助もしている。嫌がる場合は無理強いせずタイミングを見て声をかけ入浴支援をしている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>出来るだけ日中に活動していただき、夜間眠れるようにしている。本人の寝たいときに寝て、起きたいときに起きるようにしていただいている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>全利用者の既往歴や内服を一覧表で確認できるようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>パンの移動販売を利用したり、アルコールを飲んだり、本人が楽しめるように心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	協力的なご家族は毎週外食へ連れて行っている。利用者の思いをできるだけ気付き、外出レクに繋げている。	年間計画で初詣や花見・遠足に出かけている。誕生月の「わがままデイ」やその日の希望でドライブもしている。外出を嫌がる利用者は、受診の際にドライブをしている。家族と外食や自宅訪問で出かける利用者もあり、できるだけ出かけられるよう支援している。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	パンの訪問販売で値段を見て購入されている。支払いはスタッフが行うが、利用者が立ち会うことでお金のやり取りを感じていただいている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	携帯を利用され、ご家族とコミュニケーションを取っている方がいる。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	スタッフの協力で季節に応じた飾り付けを実施している。また、利用者の不快にいち早く気付き、全利用者が心地よく過ごせるように工夫している。	リビング内は採光や温・湿度等が適度に調節されており、階段や壁には利用者の写真と手形・季節の飾り物・様々な折り紙等が飾り付けられている。テーブルやソファの配置を利用者の動線等を考慮して工夫し、居心地良く過ごせるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>仲の良い利用者は隣同士で座れる環境を作っている。不快を感じないように利用者の配置を工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族の要望もあり、前例はなかったが、テレビ、冷蔵庫が設置している居室がある。本人も満足されて生活している。</p>	<p>介護用ベッド・タンス・エアコンのある居室に、本人・家族の考えでテレビや冷蔵庫・洋服等を持ち込み、写真や歌詞カードを貼る等、利用者らしい部屋作りがされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>本人が出来ることを全スタッフで把握して、出来ない部分だけの支援を行っている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない